

記入例 ② 所得で申請

おもて

別紙

簡易な収入(所得)見込額の申立書 【家計急変者】

令和4年6月1日以降用

○「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金申請書」と一緒にご提出ください。

① 下記にチェック (☑) してください。

私の世帯は、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少しました。

① 申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記載した**全ての方**の状況を記載してください。

| ② 申立書 | (フリガナ) 氏名 | 左欄の者が扶養する者の数 | 令和4年度 収入の減少 | 任意の1か月の収入⑤ | | | 年間収入 見込額⑥ | 非課税相当 収入限度額⑦ | |
|-------|--------------------|--------------|--|---------------|------------------------------|-----------|--------------|-----------------|-------------|
| | | | | 【A】 | 【B】 | 【C】 | | | |
| 1 | マクベツ タロウ 幕列 太郎 | 2 人 | <input checked="" type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告 | 令和4年 4 月 | 収入合計額 A+B+C=【D】 200,000 円 | 200,000 円 | 0 円 | 0 円 | 2,400,000 円 |
| 2 | マクベツ ハナコ 幕列 花子 | 0 人 | <input type="checkbox"/> 課税 <input checked="" type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告 | | | | | | |
| 3 | マクベツ パオタ 幕列 パオ太 | 0 人 | <input type="checkbox"/> 課税 <input checked="" type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告 | | | | | | |
| 4 | | | <input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告 | 令和4年 ____月 | 収入合計額 A+B+C=【D】 | | | | |
| 5 | | | <input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告 | 令和4年 ____月 | 収入合計額 A+B+C=【D】 | | | | |

② 扶養する人数(扶養控除等申告書に記載の人数)を記載してください。

⚠ 非課税の場合は本欄の記入は不要

(記入上の注意)

- ① 「左欄の者が扶養する者の数」欄には、同居・別居にかかわらず、左欄の者が扶養している親族の数を記入してください。(扶養控除等申告書で届け出ている人数)
- ② 「住民税課税状況」欄には、住民税課税状況を選択してください。
- ③ 「障害者控除等の適用」欄には、障害者控除等の適用状況を選択してください。
- ④ 「収入の減少のあった年」欄には、収入が減少した年を選択してください。
- ⑤ 「任意の1か月の収入」欄には、令和4年度の任意の1か月の収入を記入してください。 ※令和4年度住民税確定申告していない世帯については、令和4年4月の収入を記入してください。

引き続き、裏面を記入してください。

| | | |
|-----------------|-------------------------|--|
| 給与収入 | ※給与収入 ※給与収入 | |
| 事業収入又は 不動産収入 | ※事業収入 ※事業収入 ※帳簿収入 | |
| 年金収入 | ※年金収入 ※年金収入 | |

- ⑥ 「年間収入見込額」欄には、D欄(収入合計額)を12倍した金額を記入してください。
- ⑦ 「非課税相当収入限度額」には、①欄の人数に応じて、下表から非課税相当収入限度額を記入してください。

| 扶養している親族の状況 | 非課税相当収入限度額 |
|------------------------|------------|
| 単身又は扶養親族がいない場合 | 93.0万円 |
| 配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合 | 138.0万円 |
| 配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合 | 168.4万円 |
| 配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合 | 210.4万円 |
| 配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合 | 250.4万円 |
| 障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合 | 204.4万円 |

※これを超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用

③ 申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記載した**全ての方**の状況を記載してください。

③ 年間所得により申し立てる場合、申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記入した全ての者について記入してください。

| (フリガナ) | 氏名 | 【収入】 | 【控除】 | | | 【所得見込】 | 【非課税相当額】 |
|--------|--------------------|--------------|--------------|---------------|--------------|--------------|---------------|
| | | 年間収入見込額 ⑥ | 給与所得控除額 ⑧ | 事業収入等の経費 ⑨ | 公的年金等控除 ⑩ | 年間所得見込額 ⑪ | 非課税所得限度額 ⑫ |
| 1 | マクベツ タロウ 幕別 太郎 | 2,400,000 | 0 | 1,800,000 | 0 | 600,000 | 1,100,000 |
| 2 | マクベツ ハナコ 幕別 花子 | | | | | | |
| 3 | マクベツ パオタ 幕別 パオタ | | | | | | |
| 5 | | | | | | | |

④ 表面の⑥欄の額を転記してください

⚠ 非課税の場合は本欄の記入は不要

⑤ 各欄に該当する控除額を記入してください。

⑥ 下表の<早見表2>から、扶養人数に応じて、該当する金額を⑫欄に記入してください。

(記入上の注意)
⑥「年間収入見込額」欄には、表面の年間収入見込額(⑥欄)の額を転記してください。

⑦ 年間所得見込額を計算してください。
年間所得見込額 =
 ⑥収入額 - (⑧給与所得控除額 + ⑨事業収入等の経費 + ⑩公的年金控除)

⑪の額が⑫の額を下回れば支給対象となります。

- ⑧「給与所得控除額」の欄には、以下の算定式により計算の上、ご記入ください。
- ⑨「事業収入等の経費」の欄には、以下の算定式により計算の上、ご記入ください。
- ⑩「公的年金等控除」の欄には、以下の算定式により計算の上、ご記入ください。

⑪「年間所得見込額」の欄には、以下の算定式により計算の上、ご記入ください。
 ⑪年間所得見込額 = ⑥年間収入見込額 - (⑧給与所得控除額 + ⑨事業収入等の経費 + ⑩公的年金等控除)

⑫「非課税所得限度額」には、①欄の人数に応じて、下表から該当する非課税相当所得限度額を記入してください。

※限度額は下の早見表から、①欄の「左欄の者が扶養する者の数」に応じた状況に対応する欄の金額を記入してください。
 ※下表の「扶養している親族の状況」は、「申請者本人」「同一生計配偶者(所得金額48万円以下の者)」「扶養親族(16歳未満の者も含む)」の合計人数です。

<早見表2> 非課税相当所得限度額

| | |
|------------------------|---------|
| 単身又は扶養親族がいない場合 | 38.0万円 |
| 配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合 | 83.0万円 |
| 配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合 | 111.0万円 |
| 配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合 | 139.0万円 |
| 配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合 | 167.0万円 |
| 障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合 | 135.0万円 |

※これを超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用